



2025年 8月 5日
第23号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



列車に対する機銃掃射 ～80年目のガラスのうさぎ～

1945年8月、戦況は悪化の一途をたどり、日本国内への爆撃や機銃掃射が激化していきました。神奈川県も例外ではなく、7月28日以降、毎日のように攻撃を受けることになりました。8月1日から2日にかけて横浜・川崎市内各地、8月3日に相鉄瀬谷駅が銃撃を受けました。

8月5日午前、東海道線二宮駅が銃撃され、列車を待つ数名の乗客が犠牲になりました。童話作家の高木敏子さんは二宮駅で銃撃に遭遇、目の前で父親が犠牲になり、疎開していた家族も失いました。自身の戦争体験を綴った作品

「ガラスのうさぎ」は、日本のみならず、各国語に翻訳されて読み継がれるロングセラー作品になっています。



今も駅に残る機銃掃射の爪痕

二宮駅に機銃掃射が行われた8月5日、中央線では湯の花トンネル列車銃撃事件が起きています。最寄りの高尾駅には銃撃痕が残されており、説明板も取り付けられています。

実は、東海道線においても二宮駅や根府川駅にも銃撃痕が残されています。

二宮駅



ホーム東京方の一部に大正14年製の上屋がわずかに残っており、そこでは梁の木材に弾痕と思われる損傷や鉄骨の変形が複数確認できます。

根府川駅



駅舎から上りホーム上屋にかけて、弾痕と思われる損傷が複数あり、穴を埋めた跡、コンクリート欠損や穴あき、鉄骨の変形などが確認できます。

戦後80年 新たな悲劇を生まないよう、戦争と平和について学んでいこう！